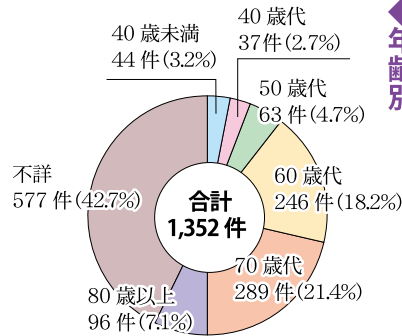
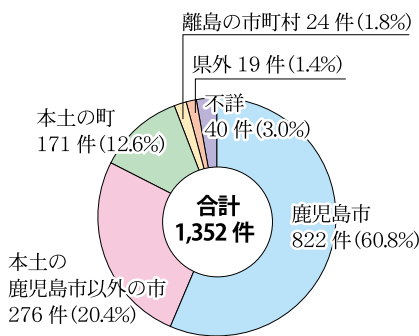


◆年齢別



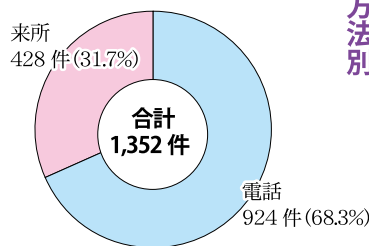
相談件数は70歳代、60歳代、80歳以上の順となっています。50歳代以下の相談は、親や祖母などの高齢者に関する相談がほとんどです。

◆地区別



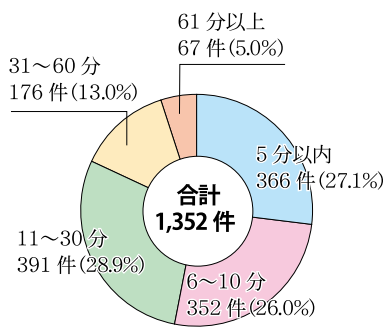
鹿児島市が822件でもっとも多く、鹿児島市を含む本土の市町で9割以上を占めています。なお、離島から24件、県外からも19件の相談がありました。

◆相談方法別



電話による924件で約7割となっていますが、来所しての面接相談も428件ありました。来所相談の多くは福祉機器、法律相談に関するものです。

◆相談時間別



最も多いのは11～30分の391件で、次いで5分以内の366件、6～10分が352件となっており、8割以上は30分以内の相談でした。しかし、1時間を超える長時間の相談も67件もありました。

あなたのまちのアクティブシニア

打馬町内会（鹿屋市）

鹿屋市打馬は、市の中心部よりやや北部に位置し、860世帯1843人が暮らしています。近年、高齢者のみの世帯や単身世帯が増える中、住民が安心して暮らし続けられるよう、打馬町内会では、各種サロン活動や高齢者の見守り活動などに力をいれています。



写真提供：鹿屋市社協

〈連絡先〉 池崎 淑夫
☎ 0994-43-2277

サロン活動では、高齢者を中心とした3種類のサロンと、認知症の方及びその家族を対象としたサロンを開設しています。高齢者を中心とした女性向けの「さくらサロン」では、パッチワークや小物づくりなどに取り組み、町内会主催の「私の作品展」で展示・発表の機会を設け、活動への意欲を高めています。また、サロン参加者に講師を依頼するなど、知識と経験を活かす取り組みを進め、役割や生きがいの創出を図っています。



見守り活動では、平成22年に「打馬あんしん安全見守り隊」を結成し、民生委員とともに、高齢者や障害のある方の見守り・声かけ、ちょっとした困りごとに対する支援を行っています。地道に活動を続けることで、孤独死や事故等を未然に防ぎ、住民が安心して暮らすことができる打馬を目指しています。

こうした熱心な活動が評価され、平成29年には、厚生労働省主催の「第6回健康寿命をのばそうーアワード」の介護予防・高齢者生活支援分野において、『厚生労働省老健局長優良賞』を受賞しました。これを励みに、高齢者の生きがい・健康づくりの更なる充実を図っていきます。

このコーナーではすこやか長寿社会運動を実践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。